

■厚生労働省「看護師等養成所の教育活動に関する自己評価指針」：Ⅴ～Ⅹ

◎良い ○まあ良い △努力 ×関連がない

カテゴリー	評価内容と基準	R4	R5	評価理由
Ⅴ 経営・管理 過程	37 養成所の設置、教育理念、教育目的、教育課程運営、教育評価、および養成所の管理運営に関する管理者の考え方を、設置者の意思との一貫性を持って明示し、かつ教職員は理解しているか	○	○	設置者の意思のもと、養成所としての考えを示し、意思決定しながら組織運営が成されている。教職員は教育理念・教育目的の達成に向け、日々、整合性を取りながら、かつ将来のビジョンを持ちながら進めている。教育評価に対する内容の明文化を充実させていく。
	38 組織体制は養成所の教育理念・目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確であり、かつ組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるように整えているか	◎	◎	
	39 組織の構成と教職員の任用、および、教職員の資質の向上についての考え方と対策は、教育理念・目的を達成するために整合性を持っているか	◎	◎	
	40 養成所の財政基盤をどのように確保しようとしているかについて明確な考え方をもち、学習・教育の質の維持・向上につながるようになっているか	◎	◎	
	41 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解し、それぞれの観点から財政についての意見を経営・管理過程に反映できるようになっているか	○	○	
	42 学習・教育環境について、管理者としてどのような考え方をもって整備しようとしているかを示し、その考え方に基づいて整備計画を立案し、実施しているか	◎	◎	
	43 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備し、また、医療・看護の発展や学生層の変化にあわせて、整備・改善できるようになっているか	○	○	
	44 学生および教職員にとっての福利厚生の施設設備は、養成所が設置されている地域環境との関連から検討し、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備しているか	○	○	
	45 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に、かつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか	○	○	
	46 教育・学習活動に関する関係者への情報提供を行うことによって、その協力・支援を得ているか	○	◎	
	47 広報活動は、看護専門職を育成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか	○	○	
	48 養成所の運営は明確な将来構想の基に、中・長期計画、短期計画、毎年の運営計画・実施・評価は整合性をもってしているか	○	◎	
	49 自己点検・自己評価の意味と目的を理解し、実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確に持っているか	◎	◎	
	50 養成所の自己点検・評価体制を整え、運用し、その機能を養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、養成所の教育理念、目的、目標を維持・改善しているか	◎	◎	
	Ⅵ 入学	51 教育理念・教育目的の一貫性から入学者選抜についての考え方を述べているか	◎	
52 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか		◎	◎	
Ⅶ 卒業・就職・進学	53 卒業生の到達状況、就職・進学状況を分析した結果は、教育理念・教育目標と整合性があるか	◎	◎	卒業時の到達度は毎年評価している。卒業後の状況は5年に一度、就職後に調査し分析している。今年度、旧カリキュラムを履修した最後の学生が卒業し、令和6年度末に新カリキュラムの学生の1回生が卒業となるため、履修状況の評価から実施時期を検討し、教育計画の再構築に繋げていく。
	54 卒業生の就職先での評価を把握し、問題を明確にし、教育を改善するために、就職先との情報交換や調査の実施などができる体制が整っているか	◎	◎	
	55 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理し、教育理念、教育目標、授業の展開に活用しているか	◎	◎	
	56 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、それを計画的に行っているか	◎	◎	
Ⅷ 地域社会 国際交流	57 社会との連携において、地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか	○	◎	地域とのつながりや健康面への貢献を意識した教育内容を考え授業を行い、教科外活動にも取り入れ充実度は上がっている。 国際面は授業内外で展開しており、科目設定もしている。学生の自己評価では以前、低い数値となっているが、今年度は海外での勤務経験のある医師や外国人の医療者を育成する人材派遣に従事する看護師からの講義を設定することができ、授業の幅を広げた。ICT環境が整備されており、オンライン下での交流の機会や動画教材による自己学習システムの活用度を上げていく。 入学生の海外からの受け入れや送り出しへの対応は、海部地域に貢献できる看護師の視点から検討し、必要度の高さがあれば体制づくりに繋げていく。
	58 養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段、養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	○	○	
	59 地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか	◎	◎	
	60 国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	○	◎	
	61 国際的視野を広げるための自己学習システムが整っているか	△	○	
	62 海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制があるか	△	△	
	63 留学や海外に置いて看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制があるか	△	△	
	Ⅸ 研究	64 教員の研究活動は保障(時間的、財政的、環境的)されているか	△	
65 教員の研究活動を助言・検討する体制が整っているか		○	○	
66 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所にあるか		○	○	